連節バス駅南運行社会実験：STEP２（秋）　結果概要 1/2

令和8年10月30日
新潟市都市交通政策課
新潟交通株式会社

【社会実験　計画】

期間：10月1日（木）～10月14日（水）延べ9日

「乗客を乗せて」運行

○ 対象路線：「長潟線」の南部営業所→新潟駅方面

○ 運行時間：南部営業所15：13発　平日１便

○ 確認事項

- 乗客のバス乗降利用
- 一般交通の確認　　など

運行実績

連節バス
運行
9日
100%

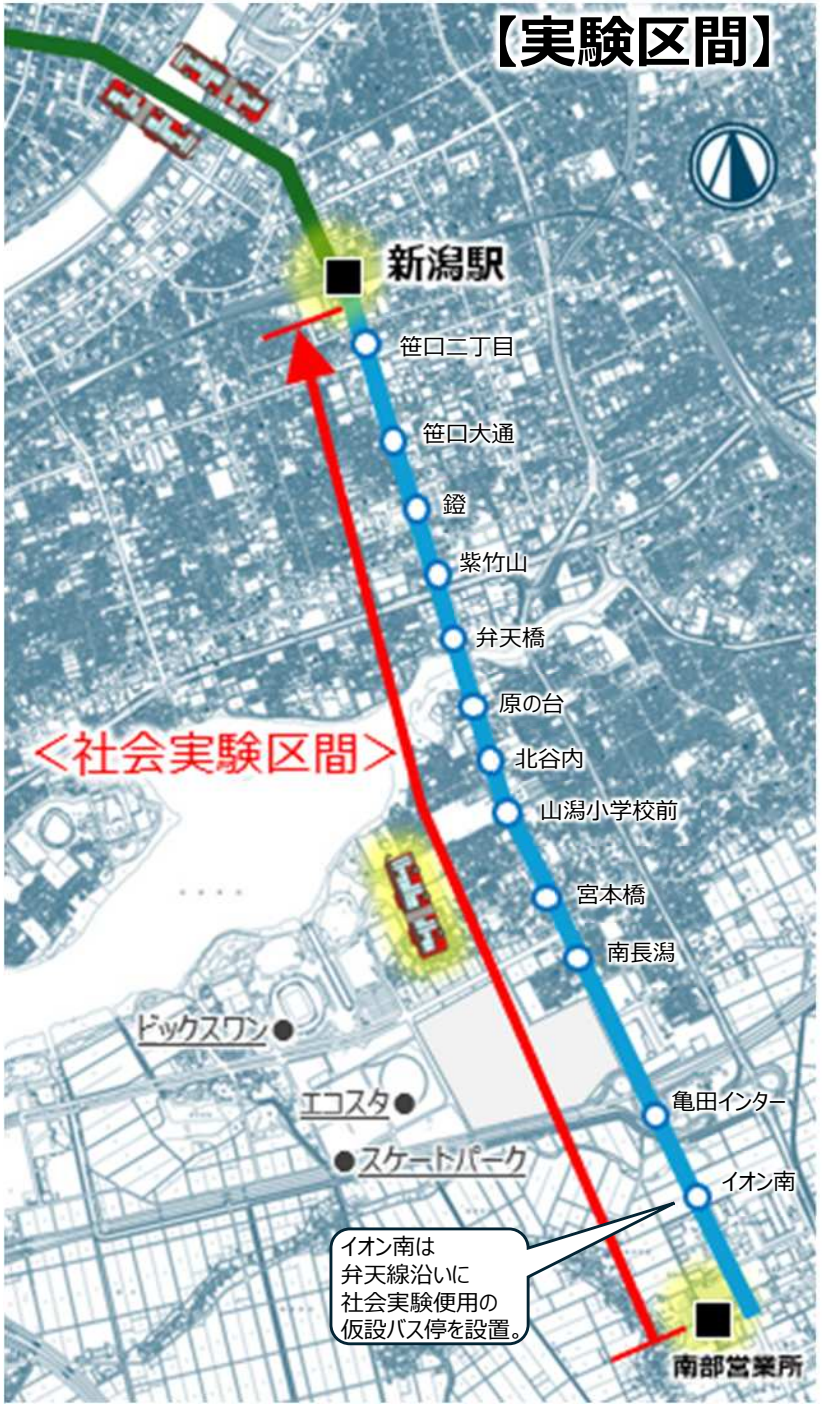
※STEP2（秋）の社会実験では、「長潟線」の南部営業所発・新潟駅方面において、午後の利用が最も多い学生の下校時間帯に連節バスを運行した。



▲新潟駅へ向かう連節バス



▲イオンモール新潟南　仮設バス停設置状況



※　今後も、駅南方面へのダイヤ運行実装に向けて、試験運行を進めていきます。

連節バス駅南運行社会実験：STEP２（秋）　結果概要 2/2

○ 長潟線の**南長潟バス停では、**15時過ぎの30分間において、**常時60～100人程度のバス待ち列が発生**している。この時間帯には5便のバスが運行しているものの、満車により乗車できない利用者が発生し、南長潟バス停や、その先の**新潟駅方面のバス停で乗車できない状況が生じている。**

○ 今回の社会実験では、この時間帯の1便を連節バスに入れ替えて運行した結果、**従来5便を要していたバス待ち列を速やかに解消**でき、歩行者空間の機能確保につながった。

○ 利用者からは、「満車で乗車できない」「バス待ち列が長い」などの状況に対し、**「次の便を待つ回数が減った」「車内にゆとりができた」**など、**連節バスの効果を実感する声**があった。

○ 交通状況については、連節バス運行による**新たな渋滞は確認しなかった。**一方、交通量の多い区間にあるバス停では、**一時的に連節バス後方に車列が生じる状況を確認**した。

○ 夏の社会実験で確認した事象も踏まえ、関係者との道路運用や運行の協議を進め、また、アンケート結果も踏まえながら、駅南方面への連節バス導入に向けた運行条件検討を進める。

■10月7日（水）　南長潟バス停　バス待ち列の状況



▲並び列65人程度



▲連節バス到着



▲連節バス出発（56人乗車）

■10月14日（水）　社会実験便利用状況

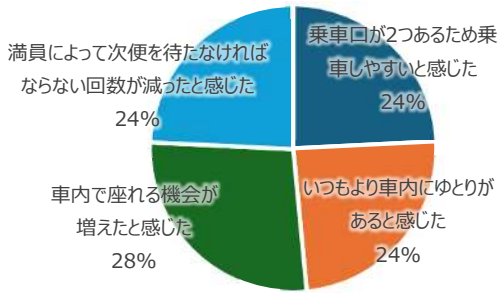
※今後、新潟交通より乗降データを確認次第、期間中の利用状況を集計予定

※期間中で最大88人の降車を確認(10月7日)



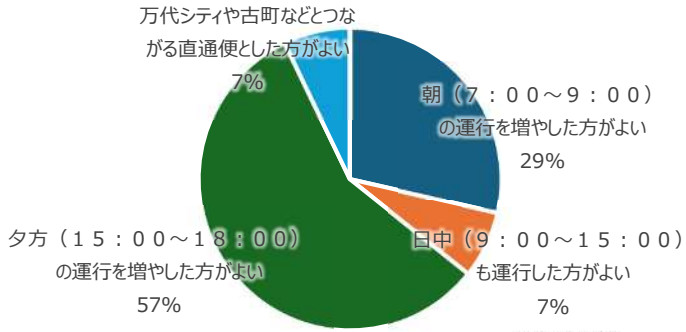
■バス利用者の声　※期間中、２日間で300人を対象にアンケートを実施

▼普通のバス車両と比べて良かった点



回答人数＝13名
回答件数＝33件
※複数回答の設問のため

▼今後の社会実験で望ましいと思うもの



回答人数＝25名
回答件数＝42件
※複数回答の設問のため

■交通状況調査　※10月7日（水）

<u>＜路線全体＞</u>

連節バスの停車時には、一般車両が追い越しや第2車線への車線変更を行うことで、交通の流れは概ね維持されている。一方、交通量の多い区間では、一部のバス停で連節バスの後方に一時的な車列が生じる状況も確認された。

➡ 交通量が多い区間においても、一般交通への影響を及ぼしにくい道路運用や連節バスの運行について検討を進める。





